

0-1-2

2 型糖尿病におけるアガリクスの糖尿病改善効果についての検討

The effect of Agaricus for type 2 diabetes

柴崎 雅江¹⁾, 菊地 弘毅²⁾, 山本 朝子¹⁾, 堀田 大介³⁾

1) 札幌生体システムクリニック, 2) 菊地内科・呼吸器科, 3) 北海道循環器病院

We administered Agaricus for patients with type 2 diabetes mellitus, and examined the improvement effects. As a result, a possibility of Agaricus having improved insulin resistance and assisting diabetes medical treatment was suggested. In addition, since anti-oxidation power was going up significantly, a possibility of reducing the influence of the active oxygen in the inside of the body was suggested.

【目的】

2 型糖尿病は、近年増加傾向にあり国民病とまで言われているが、血管障害（微小，大血管）や腎障害の合併は糖尿病患者の予後を大きく左右し問題となっている。このため糖尿病を早期に治療し、しいては糖尿病合併症を予防することが重要な課題となっている。そこで今回我々は、免疫強化作用があり様々な検討が行われているアガリクスを 2 型糖尿病患者に投与し、その改善効果を多角的に検討した。

【対象・方法】

症状の安定している 2 型糖尿病患者計 15 名に対して、「協和のアガリクス茸 仙生露エキスロイヤル」を 1 日 2 回（朝，夕食前）1 ヶ月間飲用してもらった。飲用前，飲用後 1 ヶ月目に採血検査を行い，空腹時血糖，HbA1c，HOMA-R，高感度 CRP，脂質（T.chol，TG，HDL-C，LDL-C），アデポネクチン，抗酸化力(BAP)，酸化ストレス度(d-ROMs)，尿中微量アルブミンなどの項目について検討した。

【結果】

有意差を持ってアガリクスにより改善効果を認めたのは，HbA1c[投与前 $7.20 \pm 0.27\%$ ，投与後 1 ヶ月目 $6.99 \pm 0.25\%$ ($p < 0.01$)]及び HOMA-R[投与前 4.74 ± 0.74 ，投与後 1 ヶ月目 4.29 ± 0.67 ($p < 0.05$)]と，抗酸化力(BAP)[投与前 $2039.53 \pm 49.75 \mu M$ ，投与後 1 ヶ月目 $2120.33 \pm 25.89 \mu M$ ($p < 0.05$)]であった。尚，アガリクス投与後に肝機能障害をはじめとする副作用例はみなかった。

【考察】

今回の検討では，アガリクスの投与は空腹時血糖値に関しては有意差をみなかったが，HbA1c，HOMA-R の結果からインスリン抵抗性を改善し糖尿病治療を側面から補助するサプリメントである可能性が示唆された。加えて，抗酸化力が有意に上昇していることから体内における活性酸素の影響を減らす可能性も示唆された。